

国鉄改革完遂！

当たり前の労働運動を
前進させよう！

JR 東海労に
結集しよう！

J R
東海労

静岡

J R 東海労働組合静岡地方本部

〒420-0851

静岡市葵区黒金町 68 番地

N T T 054-284-3608

発行責任者 半場弘恭

2025年8月15日 No.2

戦後 80 年豊川海軍工廠平和研修

女学生の学徒動員など約 2500 人が犠牲！



地本は、8 月 7 日静岡県 9 条連と協賛して「豊川海軍工廠と豊橋戦跡めぐり」を取り組みました。集合場所の豊川稲荷で、空襲のはじまった 10 時 30 分のサイレントと共に、空襲により亡くなられた御霊に黙とうを捧げました。このあと、豊川稲

荷の境内にある犠牲者の名前が刻まれた供養塔にお参りました。その後、東洋一の海軍工廠のあった豊川市平和交流館で空襲の DVD 映像を視聴し、製造されていた兵器や遺品を見学しました。ボランティアの案内で現存する第一弾薬庫、第三信管置場、溝を掘っただけの防空壕を見学して当時の施設の説明を受けました。80 年前の 8 月 7 日 10 時 30 分 B29 爆撃機の大編隊により知多半島方向より海軍工廠へ 3256 発の 500 ポンド(約 227kg)爆弾が投下されました。海軍工廠



は、爆風と火災で火の海となり、手や足が取れ爆風で怪我をして悲鳴を上げる人や、形の亡くなった遺体などが散乱していました。学徒動員で来ていた多くの女学生が犠牲となりました。供養塔には 90 歳を超えた遺族も訪れ「姉は 17 歳で亡くなった。今回で最後だ」と言って手を合

わせていました。未来を奪った戦争を二度と起こしてはならないと誓いました。